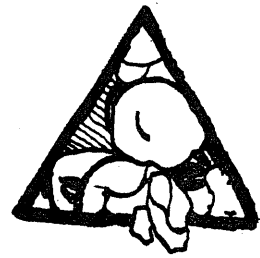


# 育 兒 叢 談 (三)

## — 第六 子 供 と 花 壇 —

花作りが子供に何故よろしいか



東京市公園課長井下清氏が東京市社會教育課母の會に於て述べられたところ、之を 國民新聞が婦人夏期講座に載せたもの幼児教育に従事するものが参考とするに足ると思ひますから更にこゝに轉載いたします。

まづ、何んのために子供に花壇を作らせるのかこの意義を考へることは、最も大切であつて。

この出發點が解らないと

土いちりなんかさせない方がいゝ着物ばかり汚して——といふ事になります。子供の遊戯娛樂の類は多種ありますが、これを大別すると二になります。第一、室内的のもの、第二、戸外的のものこれです。更に他の方面から大別すると、その遊戯娛樂に熱中させるものと間斷なく興味を惹かせ

るものとあります。花を作るといふことは、申す迄もなく戸外の仕事であり、同時に亦間斷なく興味をかせる類の娛樂であります。戸外の仕事である點が第一に

花を子供に作らせるによい

ところで、子供には太陽の光が絶対に必要です皮膚に日光を受けることは、子供の健康な生長を助けること甚大なものであるからで、折り紙、積木の類は一面結構な點もありますが、風、陽のな

い所に遊ぶことは長い時に亘ると、子供の健康上餘り感心いたされません。同じ戸外の遊戯でも、運動となると子供はそれに非常に熱中しやすく、運動が悪いと云ふのではないが、砂遊び、水遊び等は、僅の間だけ子供を熱中せしめ、注意力を集めるには可とすべきも、程度の問題で、これも長くなると悪い結果を生みます。

#### 特に競争的の遊戯娛樂と

なると、自由に放任してをいてよいかどうか疑問であります。併し乍ら、園藝を娛樂と致しますと、自然が育てる植木が人を補助するので、どんなにあせつた所で種から急には植木にならず、植木は急には花を持ちません、急いで肥料を無闇にやつたりなどすると、忽ち枯れて成功しないことになります。故に植木には子供を熱中せしむ可き要素が殆どない、これは面白い點であります。園藝によつて受ける利益の一つは、自然の知識を得

る點にあります。學校に於ても色々

#### 理科の知識も與へられます

が、花の形がどう、色がどう、葉の出來具合がどうと、先生方が教壇の上で云つたからとて、子供には却々解るものではありません。それが實際に子供自身が草花を一つ植ることによつて、土、肥料、害虫、植物とはどんなものか、歴然と解つて來て、自然教育の材料として最も適したものであります、更に人といふものは、美を要求し、美を觀賞したがるものですがその優れた觀賞力は天分にもあるでせうが、子供のうちから養成された觀念によつて異なるものです。赤い花の下に黄色い花を植え

#### 紫色の花を緑の葉の間に

點在させ、子供自身に花を植させることから、色彩及びその配合の觀念を與へるのは、極めて面白い方法かと思はれます。

## 『僕のお庭の花』得意の子供の叫び

又、一面から云ふと現今の都會生活者は、自然から餘り遠ざかりすぎてゐます、心には緑の野に咲く白い花、すが／＼しい森林の細い道、海岸の藍色の波、山に湧く白い雲などに憧れてゐますが

## その自然を自分のものに

することが出来ない、一步出れば美しい自然がある、それに觸れることが出来ない、それを享け入れることが出来ない、庭を作り一株の草、一本の木で自然を味ひたい、想像したい自然を生活にもつて來たい觀念が人を園藝に親しませることになりました。公園もこゝから設けられることになるのですが、それは大人の問題とするも、子供にしても、自然の花風にそよぐ木々を眺めるのは懐かしいものに違ひありません。小供には子供の花を作つてやり、「これはお前の庭です、お前の自然です」と云つて與へることは

## 子供自身の喜びでもあり

自然教育としても最も大切であります。花壇では植物とはどういふものかを子供に教へることが第一義であります。一例を挙げると草花は何を喰べて大きくなつてゐるのだらう、人は息をし、食物を喰べてゐるのに、植物はどうしてゐるのだらう。子供はこういふことを考へてゐます、よく人は植物から根は肥料を吸ひ上げるものであるから根にさへ植物の食べ物と與へると、生長するものであると思つてゐますが、これ丈では間違ひです植物は二つの作用から生長します。第一

## 水分に溶けた肥料を根から

吸ひ上げ、第二、その上、葉が空中から炭酸瓦斯を吸つて、根から上つた肥料が葉の中で日光によりその炭酸瓦斯と化合して、それが養分になつて植物の體に廻るのであります。故に肥料と共に水も與へる必要があるのです、是等をよく子供に教

へるのは、直接子供に花を宛がふのが最も有効であります。植物は生物です、一つの種にも命はあります、命といふものを子に教へるには、種から葉が黄色くなつて枯死するまで植物を世話させるに超したことはありません。植物は又

### 規則正しい變化をするもの

です。一つの種にある温度を興へ、ある湿氣を興へ、土の中に埋められないと植物にならない、そしてその生長は規則正しい。そこで子供に規則正しさを教へ込むことが出来ます。次に園藝の興味は、その連続的のものであるところにあります普通の遊戯であると、一つの遊戯の道具を藏つて他の遊戯に移らねばならない。そして前の道具のことなどは、全然脳裡に残らないのであります。園藝に於てはその世話をする時間は短くとも、害虫はどうか

### 植物は元氣で絶えず生長し

てゐるか、常に連続的注意を花壇に向けしめ

他日子供の成人後の仕事の上に必要な、連続的注意の習慣を養ひます。冬の間忘れた冷蔵庫を、翌る夏に出してみたところが、放任してをいた爲めに使用に堪えなかつたなどといふのはほんの一例ではあります。が、連続的注意の足りなかつたことを示してゐます。小供自身に花壇を作らせ、絶えず責任と注意の習慣をつけることは、他日社會へ出て自分の仕事をする上に、最も必要なことでもあります。赤兒に對する親の注意は、常に赤兒の泣いた時のみではありません。スヤ／＼

### 眠る赤兒にも親の注意は

あるものです。これは植物の栽培に似てゐます。一小花壇を作り、かくの如く手がかり、注意せねばならぬことが分ると、自分の親達が自分の生育に費す心配、努力の程をよく味ふことが出来、子供は花を作る時によく、それを諒解するものです。

花壇の色彩、大小の異なる花を植え、その特徴を巧に組合せることは、花壇を作る上の興味で子供にも興味を與へます。かく個性のある色々の花が、花壇を形作ることは各性格の異なる個人が

一つの社會を作つて行く

ことを暗示し、赤い花の隣に白い花が來るといつた具合に、組み合せることは社會組織の面白味を示し、花壇を例にとつて、人は誰でも仲よく暮して行かねばならないと、小供に説くのも面白いと思ひます。

遺傳の法則がしごく簡單にのみこめ

その繁殖法は手品の興味、最後に性教育について一寸一言しますと、遺傳のことを小供に教へるには、時期が早いかも知れませんが、花を作ると遺傳のことがよく解り

性の教育は植物について

話すと、簡易なもので上品に行ふことが出来る

と思ひます。美しく咲いた花を子供に觀賞させようとするのは無理だと思ひます。老人は美しく出來上つたものを、觀賞しようとするが、若き者小供は自分で出來上らせようとするものです。綺麗に花を作つて子供に見せても子供は満足しません故に花屋から花を買つて、花壇に植える可きではなく、種、少くとも苗から子供と共に作らねばなりません、種から栽培すると單純になつて、子供が倦きると思はれる場合には、他の繁殖法をとり根分け接ぎ木、差し木をするもよいと思ひます。子供は

その繁殖に手品使ひの手品

の時に覺える様な興味をもち、面白がつてその生長をまつものです。然し子供の花壇は必ず成功させねばなりません、一度失策すると、子供はもう興味を持たなくなりません。花壇に成功するために、親達の腕で相當効果を擧げる植物を栽培しな

ければならないので、ヒヨロ／＼の植物が出来る  
と、子供は花壇といふものに失望してゐます。こ  
れは充分研究してやつて頂かねばなりません。さ  
て、花壇を作るとして、まづ第一に考へねばなら  
ぬことは、第一、陽が當るかどうか、第二、風通  
しはよいか、第三、土質はどんなか、等でありま  
す。第一第二の要件に適してゐるなら、物干の上で  
も露臺の上でも構ひません。花壇といつても何も  
難かしく考へなくともいゝので、ビール箱、もつ  
と極端に云つて罐詰の空でも結構です。次に排水  
のことも考へて戴きたいと思ひます。例へばビー  
ル箱に植木を作るなら、まづ箱に小穴を明け、小  
石を敷いて、その上に土を盛らねばなりません。  
肥料はもとごえが一番です。もとごえとは苗を植  
える前に、土の中へ入れてをく肥料のことで、これ  
は充分に與へてをき後からは水を與へる位で充分  
です。尙人糞肥料は腐敗したものを與へる事です。

これは桶にでも入れてをけば自然に腐ります塵溜  
をさらつて山になつた塵を篩にかけその中にこや  
しを入れてやるのも一方法です。それから草花を  
作れば必ず害虫が来て病氣に罹るものと思はねば  
なりません。殊に人の栽培する園藝植物は弱いも  
のですから、必ず病氣がつくものと思つて戴きた  
い。又花壇といふと西洋花を作らねばならぬやう  
に人は思つてゐますが、西洋花に限つたことはあ  
りません。日本式の庭なら、日本の花を作ればよ  
いのでこうすれば家庭の老人達の御氣嫌に觸れる  
やうなことはありません。西洋花に比べると苗や  
種子を手に入れるのに、多少の困難を免れませ  
んが、心掛ければ直手に入るものです。花壇と云ふ  
と、誰でも花の色によつて出来上つた美しい菊花  
形の花壇や梅鉢模様の立派な花壇を想像し、そん  
なものを日本式な庭の中などへ作らうとするから  
よく家庭の問題になるので、日本式の庭園などに

於ては雨垂石に沿ふて、細い長方形の花壇などを  
作り、丈の低い草花などを栽培すると面白いと思  
ひます。これなら、さして御老人連の反對にも合ふ  
まいと考へられます。誰方の栽培にも適する草花  
の名を左に掲げませう。春咲く花、蛇の目草、矢車  
草、きんせん草、雛菊(デジー)、ロツプス、三色堇チ  
ューリップ、ヒヤシンス、アネモネ、春は球根花  
が多く、上手下手なく成功します。以上のうちヒヤ  
シンスの栽培は稍難しいものです。夏咲く花、ほう  
せん花、けし、つくばね朝顔、きんれん花、ルービ  
ン、雞頭、松葉ぼたん、百日草、美女櫻、日まはり  
ダリヤ、カンナ、ほうせん花は種によいものを蒔  
くと、中々よく種子に觸るとはねるので子供が特  
に興味を持ちますけし、これはお菓子などによく  
ついてゐるのでこれも子供の興味を惹きます。ル  
ーピンは藤を逆様にしたやうな花です。ダリヤは  
相當手をつくす事を要しますが、カンナは樂なも

のです。秋の花。サルビア、雞頭、秋のものコス  
モス、ポレミア、雞頭には夏のもの秋のもの  
あります。コスモスはよく大きくなりすぎてお困  
りの方がありますが、これは差し木にして柔かい  
土の中に差すと恰度になります、ポレミアは蒔き  
放しでは不可いので一寸手數がかかります。觀葉  
植物水草類草花の外に子供に作らせて面白いもの  
にはきやべつちりめんカンナ、ユカ、箒の木、き  
やべつは食べる方ではなく葉ぼたんの方です、  
ちりめんカンナともに栽培に譯のないものです。  
水草類又小さい池に睡蓮、くわい、おもだか、河  
骨の類を栽培するのも面白いと思ひます。

#### 茄子一つの獲物も

家庭中が大騒ぎする野菜もの、栽培の喜び野菜  
を作ることもいと考へます。これは子供のみな  
らず誰でも興味を持つところでせう。胡瓜、茄子  
等は、一つなつても一家中大騒ぎで賞味するもの

で、興味本位として、一家團欒の上から見て面白  
いと存じます。その他廿日大根、ルバーブ、茗荷  
やつがしら、さといも、藤豆、隠元等をお勧めし  
ます。

廿日大根は赤い蕪の様なもの、廿日かゝると出  
來るといふところからこの名があります。ルバー  
ブは落のやうにその莖をとりこれを煮て喰べると  
甘酸っぱい味のするもの、圖案の形を持つた植  
物です。種屋に行くにあります。茗荷は新芽をと  
つてお汁にすると結構です。やつがしら、さとい  
も共に葉の形の美しく、兩者ともあまり日光の當  
らぬところでも充分成功します。尙ほ馬鈴薯甘藷  
は不成功に終り勝ちのものです。隠元は赤い花を  
持ちます。果物としては草莓、グースベリー、カ  
レンヂ等その他柿栗無花果、ぐみ、ゆすら梅等は  
大丈夫好結果を得られますが、梨桃林檎の類は難  
しいものです。ぐみは興味本位に面白と思ひま

す。薬草としてははつか、カノネロ、サンシチ、  
ハブ草等、薬草類の多くは毒草ですから、無闇に  
子供のために栽培出来ません。子供の庭木として  
は月桂樹、ひまらや杉、とうひ、もくせい、もく  
れん、につけ等。

再び申しますと、植物の栽培から色々の話をひき  
出して、子供を教訓すること、一度栽培に失敗す  
ると栽培といふ根氣仕事に子供が興味を持たなく  
なりますから、充分研究して指導の任に當り、子  
供に手をつけさせて戴きたいと思ひます。

(完)